

■幸手・杉戸モデル

幸手市では、杉戸町とともに北葛北部医師会に在宅医療・介護連携推進事業を委託し、地域包括ケアシステムの構築を推進しており、市町村主体の地域包括ケアシステムではなく、住民主体の地域包括ケアシステムを特徴としており、「幸手・杉戸モデル」と

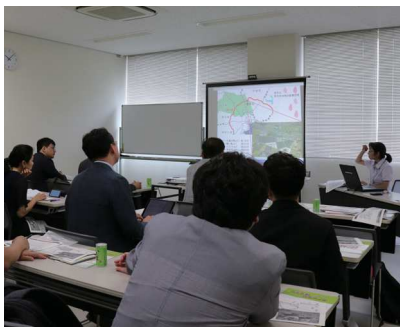
日本は諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行しています。このため、厚生労働省においては、2025年(平成37年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、市町村が中心となって地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。

韓国延世大学校保健大学院が
地域包括ケアシステム

「幸手・杉戸モデル」を視察

して全国的に有名となりました。日本全国の行政機関などから「幸手・杉戸モデル」の視察の受け入れをしている状況です。

隣国の韓国においても急速な高齢化が問題となっており、それに従い地域包括ケアシステムが韓国の政策として取り入れられることとなり、地域包括ケアシステム先進国の日本に韓国延世大学校保健大学院の教授などが7月25日(水)に視察に訪れました。



地域包括ケアシステム構築の説明

教授らは、住民主体の地域包括ケアシステム「幸手・杉戸モデル」に興味を持っており、幸手市における地域包括

■幸手・杉戸モデルに対する延世大学教授のコメント
「幸手・杉戸モデル」では、地域包括ケアの主役は住民自身であって、医療や行政は後方支援を行っていることに驚いた。住民同士がつながり、困ったときに互いに助け合える地域づくりは大変に素晴らしい。
高齢化が進む韓国でも2019年より地域包括ケアが政策として取り入れられることとなったので、住民主体の「幸手・杉戸モデル」もぜひ参考にしたい。
問合せ 介護福祉課 ☎(42) 8438・FAX(43) 5600



幸手団地内の地域サロンを視察

ケアシステム構築についての説明を受けた後、幸手団地内の地域サロンを視察、さらに、北葛北部医師会の医師から「幸手・杉戸モデル」の説明を受けました。

広島平和記念式典に参加して

8月6日(月)に広島市で開催された広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式に、市が募集した「平和の作文」で最優秀・特選を受賞した中学三年生6人が参加しました。

平和記念公園の慰霊碑、原爆ドームなどの見学や、被爆体験伝承者による話を聞くなど、平和の尊さについて改めて考える貴重な体験となったようです。ここでは、参加した生徒の感想をご紹介します。

問合せ 人権推進課 ☎(43) 1111 内線162
FAX(44) 0257



■平和記念資料館を背に集合写真

■杉山 莉音さん(幸手中)
過去の悲しみを伝える使命は、平和の尊さを再度考えさせられた機会となり、現在、何の自由なく生活できることへのありがたさを実感することができた貴重な体験となりました。
多くの観光客で賑わう広島市内から一転して、現在の原爆ドームの姿は、戦争の悲惨さを長期にわたって伝え、恒久平和の実現を強く訴えているように感じました。
平和の鐘に描かれている国境なき世界地図。その地図のような平和な世界の実現に向けて、今と戦争当時を照らし合わせながら、どのような形で私たちが過去を伝えていくのか、考える必要があると思います。

■新井 七海さん(東中)
平和な世界に
被爆体験伝承者の方からのお話、平和記念式典への参加、原爆資料館の見学を通して、私は、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さを学ぶと共に、平和の大切さを感じることができました。
私は、今回の体験を通して学び、感じたことを、皆に伝えていきたいと思っています。そして、世界が平和になることを願っています。

■鈴木 里花さん(幸手中)
広島を見学して
平和記念資料館の見学や被爆体験伝承講話、式典への参加を通して、私は、戦争は決してあってはならないと、今まで以上に強く感じました。皮膚は黒くこげ、子どもを守るために血だらけになって叫んだり、水を必死に求めたりする絵や映像は、想像をはるかに超えるものでした。
被爆者が減っていく中、私たちができることは、この事実を次世代へと伝えていくことだと思っています。そして、世界中が平和になることを願っています。

■石崎 葵さん(西中)
広島で感じた「平和」
広島で平和記念式典に参列し、原爆に関する所を見学したことは、もう一度と戦争はあってはならないことだということでした。被爆体験伝承者の方のお話を聞いて、昔にあった恐ろしい出来事を、その思いを、受け継いでいかなければならないと感じました。戦争の本当の恐怖は、体験した人にしか分からない部分

■尾花 涼さん(東中)
原爆の話聞いて
僕は、今回実際に広島を訪れて、原爆の恐ろしさを改めて知ることができました。七十三年前の原爆の話を知ると、僕の想像よりもはるかに恐ろしいものでした。上空で爆発した原子爆弾の温度は七千度で、その真下の温度はなんと三千度から四千度までになったらしいです。真下にいた人のたくさんの命が奪われました。起爆地点から離れた所にいた人たちも被害にありました。このように爆発はとても広い範囲に被害を与えたことが分かりました。

今回の体験で、原爆の恐ろしさをより詳しく知り、これからも平和がずっと続くようにと願いました。

■高花 茂慎さん(西中)
広島での体験を通して
広島平和記念式典への参列、平和記念公園の見学、被爆証言の会山口さんからの講話などで戦争がもたらした被害、原爆の恐怖、残酷さ、そして命の尊さを改めて深く考える貴重な体験になりました。今回学んだことを忘れず、家族や友人だけではなく、次の世代へ発信していこうと思っています。もう二度と過ちを繰り返さないように、そして、平和な未来を迎えるために。



■被爆体験伝承者(山口氏)のお話

facebook

埼玉県幸手市
@city.satte
ホーム

幸手市

はじめました

より多くの人に幸手市を知っていただき、身近に感じてもらうために、公式フェイスブックページを開設しました。

このフェイスブックページでは、市の魅力や市からのお知らせ、イベント情報などを発信していきます。

インターネットに繋がるパソコンやスマートフォンから、誰でも閲覧することができます。

フェイスブックのアカウントをお持ちの方は、ぜひ「いいね!」とフォローをお願いします。

ページ名 埼玉県幸手市
U R L <https://www.facebook.com/city.satte/>

問合せ シティプロモーション課 ☎(43) 1111 内線 682・684

マチを好きになるアプリ



マチイロ

お手元のスマートフォン・タブレットにアプリをインストールして、お住まいの地域を「幸手市」で録していただくと、「広報さつて」が発行日(毎月1日午前8時ごろ)に自動配信されます。

市ホームページに掲載された「新着情報」なども、アプリに表示されます。

いつでもどこでも、お手元で広報紙や幸手市の最新情報をご覧いただけます。

ぜひ、幸手市のイベント情報を切り取って、フェイスブックなどで「シェア」してください。

Android 用⇒



iOS 用⇒

